

練習船「銀河丸」が北九州港に寄港しました！

平成29年5月27日（土）～6月1日（木）、門司区西海岸に独立行政法人海技教育機構の練習船「銀河丸」が寄港しました！

5月27日（土）12時、「銀河丸」は関門橋をくぐって入港。巡視艇「ともなみ」と消防艇「ひまわり」による鮮やかなカラー放水で歓迎しました。また、小学4年生～中学生を対象とした体験型の海洋教室「シップスクール」には、23名の子どもたちが参加。船内を探検しながらブリッジや機関室の見学、操船シミュレータ体験など、船の仕組みについて楽しく学習しました。デッキでは、様々なロープの結び方を学び、船員さんに教わりながら一生懸命取り組んでいました。

5月28日（日）の一般公開は、絶好の天気にも恵まれました。船の前には行列ができ、約3,000人が船内を見学しました。

6月1日（木）の出港セレモニーでは、地元の園児が元気いっぱい「清滝飛翔太鼓」を披露。岸壁には大勢の市民や「スナQ」、「じーも」、「モモマルくん」がお見送りに駆けつけました。

13時、汽笛とともに、実習生が帽子を振ってお礼とお別れの挨拶をする「登舷礼（とうげんれい）」が行われ、次の港東京港へ向けて出港しました。



青空の下、関門橋をくぐって入港する「銀河丸」



ロープワーク体験に取り組む子どもたち



船の前に長い行列ができた一般公開



元気いっぱいの「清滝飛翔太鼓」で賑やかに見送り